

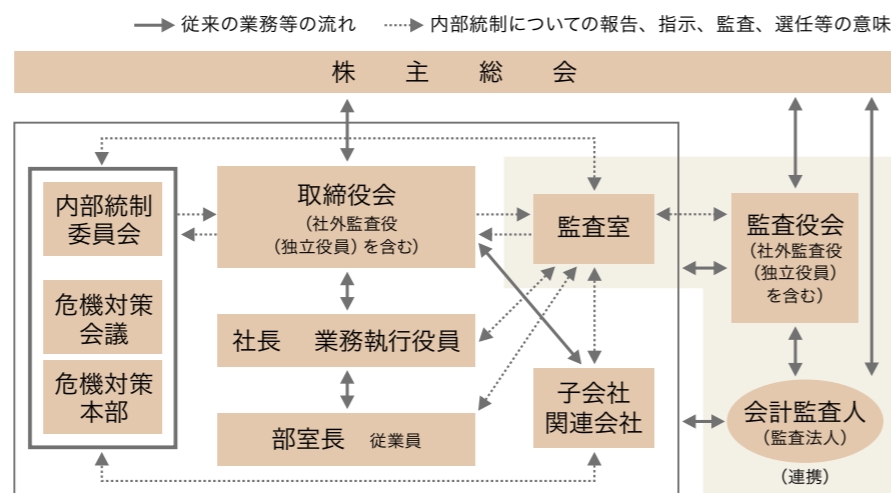


当社は、企業価値の向上を目指し、迅速な意思決定と経営の効率化を図るとともに、監督機能の強化によって経営の透明性や健全性を確保することで、コーポレートガバナンスの強化・充実を図っています。その中で、リスクマネジメントおよびコンプライアンスに関する対応も確実に進めています。

## コーポレートガバナンス体制

当社は、取締役・監査役制度を中心にコーポレートガバナンスの充実を図り、公正で透明性のある経営機構を構築することを基本的な考えとしています。

当社の経営体制は、2016年6月より社外取締役を含む取締役9名（うち社外取締役2名）、社外監査役3名を含む監査役4名で構成されています。



## リスクマネジメント

当社は、大規模な事故や災害、不祥事などへの対処について、「危機管理規定」を制定し、平常時より「危機対策会議」において事故や災害などを想定した対策を講じ、有事の際には、「危機対策本部」を設置し、社長を本部長として対応することを規定しています。

経営管理上のリスクについては、取締役会に上程し、対応を決定しています。また、日常業務におけるリスクは、管理規定や業務マニュアルなどを作成し対応しています。

## コンプライアンス

当社は、「経営方針」、「企業倫理規範」、「企業行動基準」などを取締役会にて制定し、法規制等の順守を掲げています。これらの方針や規範などに基づいた業務の執行を確保するための、内部統制委員会を設置し、コンプライアンスの強化を図っております。

当社は、コンプライアンスならびに社会的規範の順守に関して以下を掲げ、取締役をはじめとする役員および従業員全員が認識し、業務を遂行しています。

1. コンプライアンスおよび社会的規範ならびに社会的良識に基づいた企業活動を行う。
2. 社会の秩序・安全を脅かす反社会的勢力と絶縁し、健全な企業活動を行う。
3. 国際的事業活動において、国際ルールや現地の法令を順守し、また現地の文化や習慣を尊重し、その国の発展に貢献する企業活動を行う。

## 反社会的勢力排除の取り組み

当社は、市民社会の秩序・安全に脅威を与える反社会的勢力およびこれに類する団体等とは一切の関係を持たず、また、要求を断固として拒否することを規定しています。

担当窓口を設置し、情報を一元管理することで、警察、特殊暴力防止対策連合会および外部の専門機関と連携を取っています。

コーポレートガバナンスに関する基本方針、コーポレートガバナンス報告書を当社ホームページの「コーポレート・ガバナンス」のページに掲載しています。

コーポレートガバナンスについてはこちら <https://www.pacific-metals.co.jp/ir/governance.php>

1949	日本曹達株式会社の鉄鋼部門より分離独立し、日曹製鋼株式会社として発足
1952	東京証券取引所、大阪証券取引所に上場
1954	新発田工場の砂鉄銑設備をフェロニッケル製錬設備に転換
1957	八戸工場完成、砂鉄銑の製造開始
1959	フェロニッケル製錬を専業とする大太平洋ニッケル株式会社設立に伴い、新発田工場を分離
1965	八戸工場の銑鉄生産設備の一部を合金鉄およびフェロニッケル製錬用に転換、フェロマンガンを続いて、1966年にはフェロニッケル、1968年にはステンレス鋼の生産を開始する。1969年に2.5万KVA、1970年に4万KVAの大型電気炉2基を設置し、フェロニッケルの生産を増強
1970	大太平洋ニッケル株式会社を吸収合併し、大太平洋金属株式会社に社名変更 フェロニッケルのトップメーカーとしての基盤を確立 フィリピン事務所 開所
1972	インドネシア・アネカタンバン社フェロニッケル製錬工場建設の技術援助契約締結（アンタム計画）
1973	フィリピンのリオ・チュバ・ニッケル鉱山（株）に資本参加し、ニッケル鉱山を開発
1974	テレメータシステム協定締結
1978	公害防止協定締結
1980	産業廃棄物処分業許可取得
1983	岩瀬工場を分離し、大太平洋ランダム（株）に研削材部門を営業譲渡
1984	直江津、富山、習志野工場を分離し、鋳鋼、鍛鋼、機械部門をそれぞれ大太平洋特殊鋳造（株）、大太平洋製鋼（株）、大太平洋機工（株）に営業譲渡
1985	八戸工場を八戸製造所に改称
1988	フィリピンのタガニート鉱山株式会社に資本参加し、ニッケル鉱山を開発
1995	八戸製造所にフェロニッケル製錬電気炉6万KVA設置、3炉体制確立
1996	八戸港河原木第2埠頭完成（公共）
1997	原料輸送コンベアライン設備完成（河原木）
1998	ISO9002取得
1999	本社機構を八戸に移転しフェロニッケル専業メーカーになる
2003	リサイクル事業の「焼却灰・ホタテ貝殻リサイクル施設」完成 ISO9001:2000に移行
2005	フェロニッケル 100万トン生産達成 青森県環境影響評価条例に伴う環境アセスメントを実施 特別管理産業廃棄物処分業許可取得
2006	フェロニッケル製造ライン増強工事完了 第二発電所脱硝装置設置
2007	全排水溝へ排水モニター設置 排水口の一部に小規模排水処理装置を設置
2008	ジャカルタ事務所 開所
2009	ISO14001:2004取得 フェロニッケル製造ライン増強工事完了
2010	鉱石ヤードへのダストモニター設置
2011	廃棄物処理状況のホームページ公開 排水口、煙突監視カメラの設置
2012	OHSAS18001:2007 取得
2013	排水終末処理施設運転開始
2014	統合マネジメントシステム運用開始
2015	コーポレートガバナンスに関する基本方針制定
2016	新たに「経営理念」「長期ビジョン」を策定
2017	一般社団法人 青森県産業廃棄物協会から「優良事業所」表彰 八戸工場大学アートプロジェクトへの参加
2018	もったいない・あおもり県民運動10周年記念大会において、「もったいない・あおもり賞」を受賞
2019	ヴァンラーレ八戸専用サッカー場「PAMCOフィールド」のネーミングライツ取得